

一般質問 要旨



吉原美智恵議員

問 小地域懇談会の取り組みが開始されて30年経つが、行政も住民

の意識もマンネリ化しているのではないか。「継続は力なり」で一

問 小地域懇談会の取り組みは
答 創意工夫をし啓発を図る

くさんいることも事実である。今年取り組みでも地区の対応の仕方や意識の違いにより出席人数に大きな差が出ていた。これからの取り組みはどうしていくのか。

問 保育所を町長部局から教育委員会へ移管する方針が明らかになった。県内初の取り組み

問 保育所の教育委員会移管は

答 福祉行政と教育行政の一本化を

間、保護者の不安・戸惑いが生じやすい。就学前に学ぶ姿勢、集団になじむ活動を視野に入れながら、福祉行政と教育行政が段階的に一体化していく中で新たな成果を考えている。



沢田正己議員

問 9号線から「ふるさとフォーラムなかやま」に行く道路は、非常に不便である。

中山温泉館の客足も年々減ってきている。また、ナスパルタウンの売れ行きが悪いことも9号線から直結する道路がないことが大きく影響している。早急に新しい道路の事業着工はできないか。

問 9号線からフォーラムへの町道新設
答 必要性は認識している

答 (山口隆之町長)



答 (山口町長) 指摘されたようにまだまだ差別事象が後をたたない状況にあると承知している。町民に対して人権教育・啓発の一層の推進を図り、区長や社会教育推進員への事前研修会を更に充実させ、行政職員の人権意識の高揚を図っていく。創意工夫を活かした粘り強い啓発活動を引き続き取り組みが必要がある。

みということで大いに期待している。幼児期は、保護者のしつけと愛情が第一だが、就学前の子どもが学習集団に慣れるよう保護者を支援していくことは大切であると考え。その教育の方針と内容はどのようなものか。

答 (山田晋教育長)

幼児期は生涯にわたる人間形成の上からも大切な時期である。旧3町とも保育所と小学校の連携は年々深まって一定の成果を上げており、その延長線上にある移管と考えている。出産から保育が始まり、小学校に入学段階で教育という領域にバトンタッチする。その間に保護者の不安・戸惑いが生じやすい。就学前に学ぶ姿勢、集団になじむ活動を視野に入れながら、福祉行政と教育行政が段階的に一体化していく中で新たな成果を考えている。